

## 平成24年度社会教育委員会議7月定例会会議録

平成24年7月17日

201 会議室

午後7時～

出席者 委員 9名

事務局 3名

### 1 開 会

【議 長】 梅雨が明けて、暑い毎日が続く。昔はひと夏に30℃を超えることはあまりなかったが、今は40℃に近い時もある。地球温暖化が進んでいるが、夏バテしないように注意したい。

【課 長】 夏は子ども向けの講座があるが、夏バテしないように乗り切りたい。

### 2 報告事項

#### (1) 放課後子ども教室について

(報告資料1)

【事務局】 資料にもとづき今年度一学期の状況を報告。

【議 長】 実施日は変更できるのか。

【事務局】 年度内は、変更する考えはない。

【委 員】 ボランティア登録する場合は、社会教育課へ問い合わせるのか。

【事務局】 実施校へ直接でもよい。

【委 員】 スタッフは何人いるのか。

【事務局】 4から5人いる。総括のコーディネーターを筆頭に、宿題などの面倒をみる学習担当や、体育館や校庭での活動の見守りのための安全管理員がいる。

【委 員】 学校によって活動はまちまちか。

【事務局】 基本はコーディネーターの判断で行っており、ボランティアが囲碁やキンボールなどを教えてくれるところもある。

#### (2) 今後の講座開催予定について

(報告資料2)

【事務局】 資料にもとづき報告。

【議 長】 子ども体験塾は以前も行っていたのか。

【事務局】 以前は、市単独でも補助金が出ていて、社会教育課もいくつか事業を行っていた。今は市町村が合同で実施しないと補助金が出ない。

【委員】 ぽしあーもというの何か。

【事務局】 東京都の家庭教育の中の、早期からのしつけ後押し事業である。講演後、グループワークを実施し、その後個人相談も受け付けた。

【委員】 定期的にたくさん開催するとよい。

(3) 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について

ア 日時 平成24年7月26日(木) 午後3時～

イ 場所 稲城市地域振興プラザ4階会議室

ウ 出席者 議長

随行 事務局1名

【議長】 内容については、次回定例会で報告する。

### 3 協議事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会臨時役員会の要点録の送付および運営改善に向けた協議について (協議資料1)

【事務局】 資料にもとづき報告。

【議長】 前年度、運営改善に向けてアンケートを取るなど行った。

【委員】 課名が社会教育課で、係名が生涯学習推進係とそれぞれ分かれているが意味があるのか。

【事務局】 平成20年度に社会教育法が改正され、生涯学習を推進するのが社会教育の役目である。

【委員】 市町村によっては生涯学習課があるが。

【事務局】 青梅市では変える予定はないが、内容については変わっていく。

【委員】 会則について、案1から3の中で選ぶのか。

【事務局】 意思だけ決まっていれば良いのでは。

【委員】 青梅市の場合は、社会教育の幅が小さい。

【事務局】 生涯学習は広い。社会教育は推進する役目である。

【議長】 提案された改善案について、青梅市は進めていく。

(2) 青梅市生涯学習推進市民会議委員の推薦について

任期満了(平成24年9月30日)に伴い、新たに推薦願いたい。

任期は、平成24年10月1日から平成26年9月30日までの2年間。

【事務局】 現在派遣している委員が任期切れとなるため、後任を選出願いたい。

【議長】 引き続き現委員に再任をお願いしたい。

【委員】 もう一期だけ引き受ける。

(3) 青梅市美術館運営委員会委員

任期満了（平成24年10月6日）に伴い、新たに推薦願いたい。

任期は、平成24年10月7日から平成26年10月6日までの2年間。

【事務局】 現在派遣している委員が任期切れとなるため、後任を選出願いたい。

【議長】 専門分野なので、現委員に再任をお願いしたい。

【委員】 了承。

(4) 第54回全国社会教育研究大会山梨大会について（協議資料2）

ア 日時 平成24年10月25日（木）から26日（金）

イ 場所 甲府市総合市民会館

【事務局】 資料にもとづき説明。

【議長】 出席する。締め切りはいつか。

【事務局】 8月24日だが、予定がわかり次第早急に連絡願いたい。

(5) 社会教育委員会議会議録の市ホームページ公開について（協議資料3）

【事務局】 過日の社会教育委員会議で、公開については了承してもらった。

図書館運営委員会などの議会議録とともに、個人名は伏せて市ホームページに公開していきたい。

【議長】 教育委員会など一部は公開しており、同様にするということがある。他の市町村でも公開しているのか。

【事務局】 公開しているところはある。

【委員】 欠席委員名のところは削ってほしい。

【議長】 出欠席については除くでよいか。またいつから公開するのか。

【事務局】 出欠席については除く。公開は4月に遡って他の会議と足並みを揃えて出すつもりである。

【議長】 市のホームページか。

【事務局】 市の教育委員会のホームページです。

(6) 8月定例会について

【議長】 例年8月は休会としている。来月は休会としてよいか。

【委員】 了承。

#### 4 その他

各種参考資料、報告書配布

【議長】 後ほどゆっくりお目通し願いたい。家具転倒防止器具の申し込みはどうか。

【事務局】 結構ある。広報に大きく掲載したが、地域の条件があった。立川断層の講演会は、100人募集のところ200人来た。

【議長】 出前講座の申し込みはどうか。知らない人も多いようだが。グループで申し込むのか。個人では駄目か。

【事務局】 効率を図っている。個人の場合は、市まで聞きに来てもらっている。去年は、防災関係の出前講座が多かった。

【議長】 立川断層は前回と同じような内容か。

【事務局】 3月に20人ぐらいで見学を行ったが、募集人数が少なかったもので、今回は講演会を行った。今回の内容は、地震があった時の備えが大事という話で、次回は防災テクニックを行う予定である。手ごたえとして、市民が知りたかったのは断層のことではないか。社会教育の守備範囲は広いので、連続して内容を変えて行う。

【委員】 放課後子ども教室や各講座で教えている人の資格についてはどうか。和太鼓教室は、生涯学習だよりも講師が載っていない。

【事務局】 放課後子ども教室については、公募する際の資格は特にない。熱意を持っていることが大事である。青梅総合高校の和太鼓については、高校生が教えている。講師の選定は社会教育事業が成立するようにお願いしている。

【委員】 放課後子ども教室の保険についてはどうなっているか。

【事務局】 放課後子ども教室については、市長会保険で対応している。生涯学習だよりもについては、社会教育課の主催事業でなくても対象を限定しなければ掲載している。

【議長】 会員募集も掲載するのか。

【事務局】 掲載している。

次回定例会 9月18日（火）